

「平成29年度第1回基幹公共交通・バス路線網再編部会資料 -新交通センターについて-」より

## ■施設配置

### ○バス乗降場配置

乗降場を方面別に集約し、乗降場26バス(予備3バス)をコンパクトに配置することで、利用者の利便性向上を図る。

### ○乗り換え利便性

2階及び地下1階にトランジットコンコースを設置し、コンコースを介して各乗降場への移動可能とし、利用者にわかりやすい動線を確認。

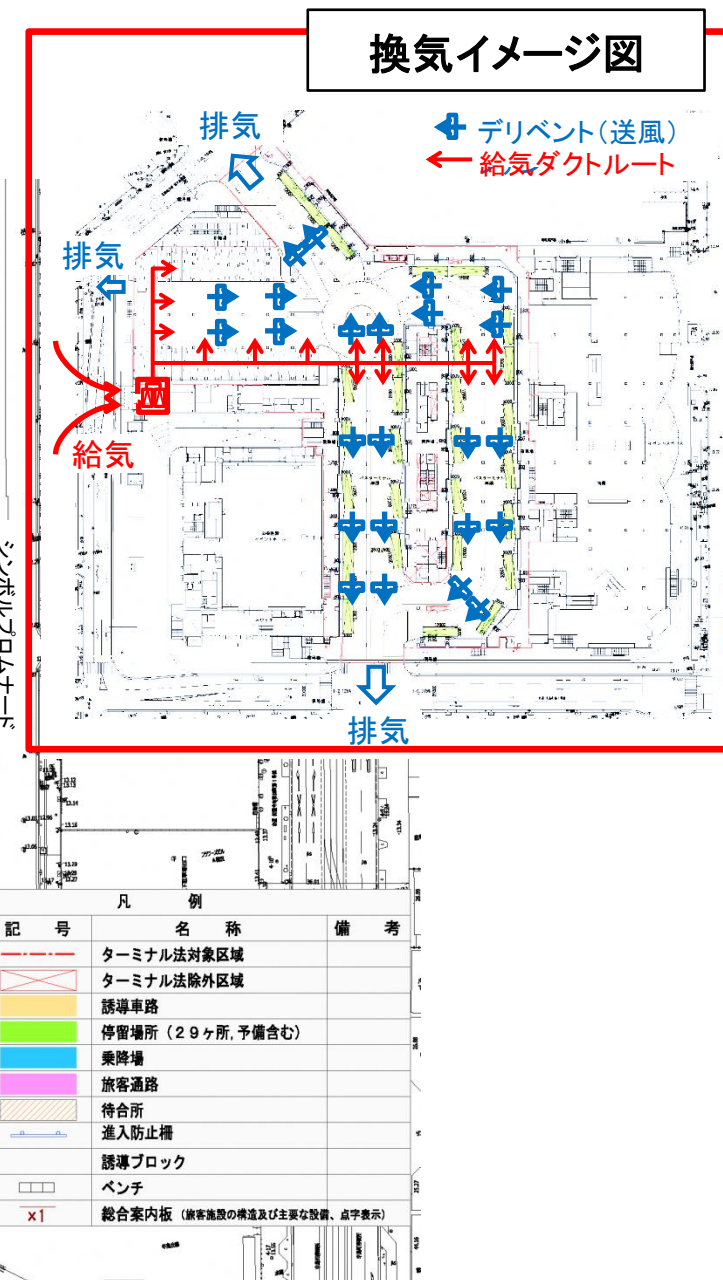
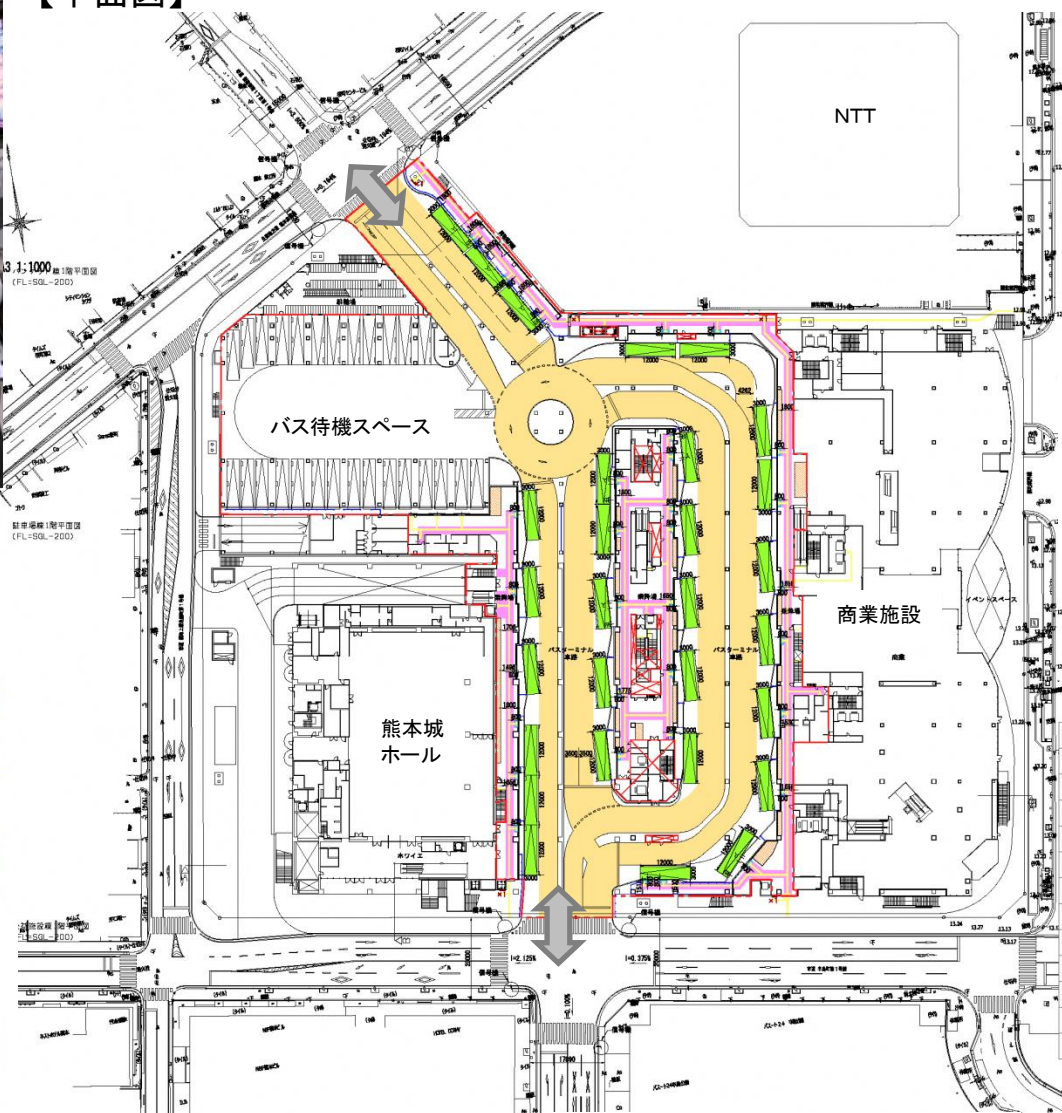
### ○快適性・バリアフリー

コンコースと各乗降場はエスカレーターやエレベーターによるバリアフリーの上下移動動線を確認するとともに、ホームドアを採用することで、快適で安全な利用環境を整備。

### 【イメージパース】



【平面図】



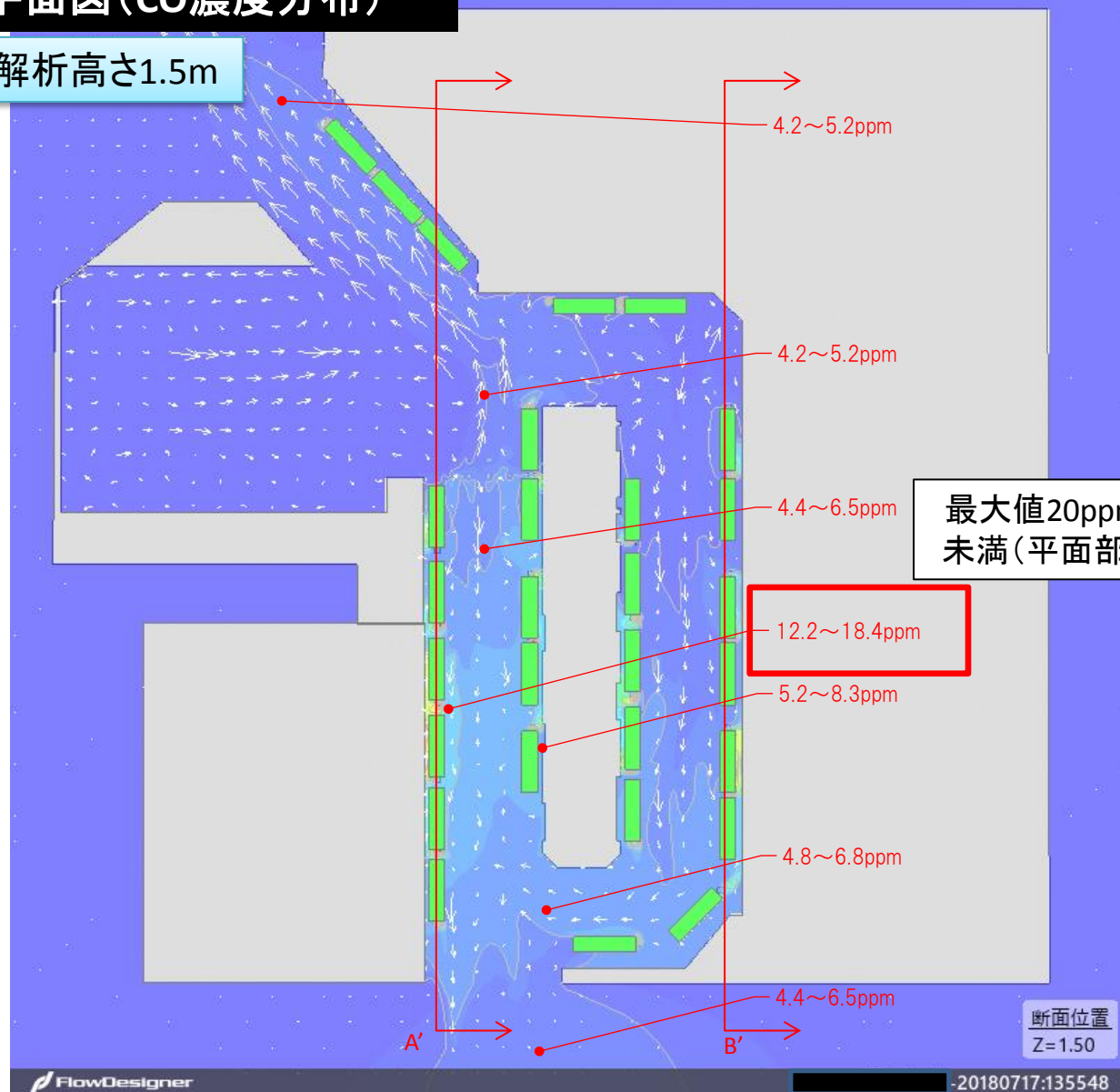
※乗場配置については、現在協議中

# メインターミナルの換気シミュレーションについて

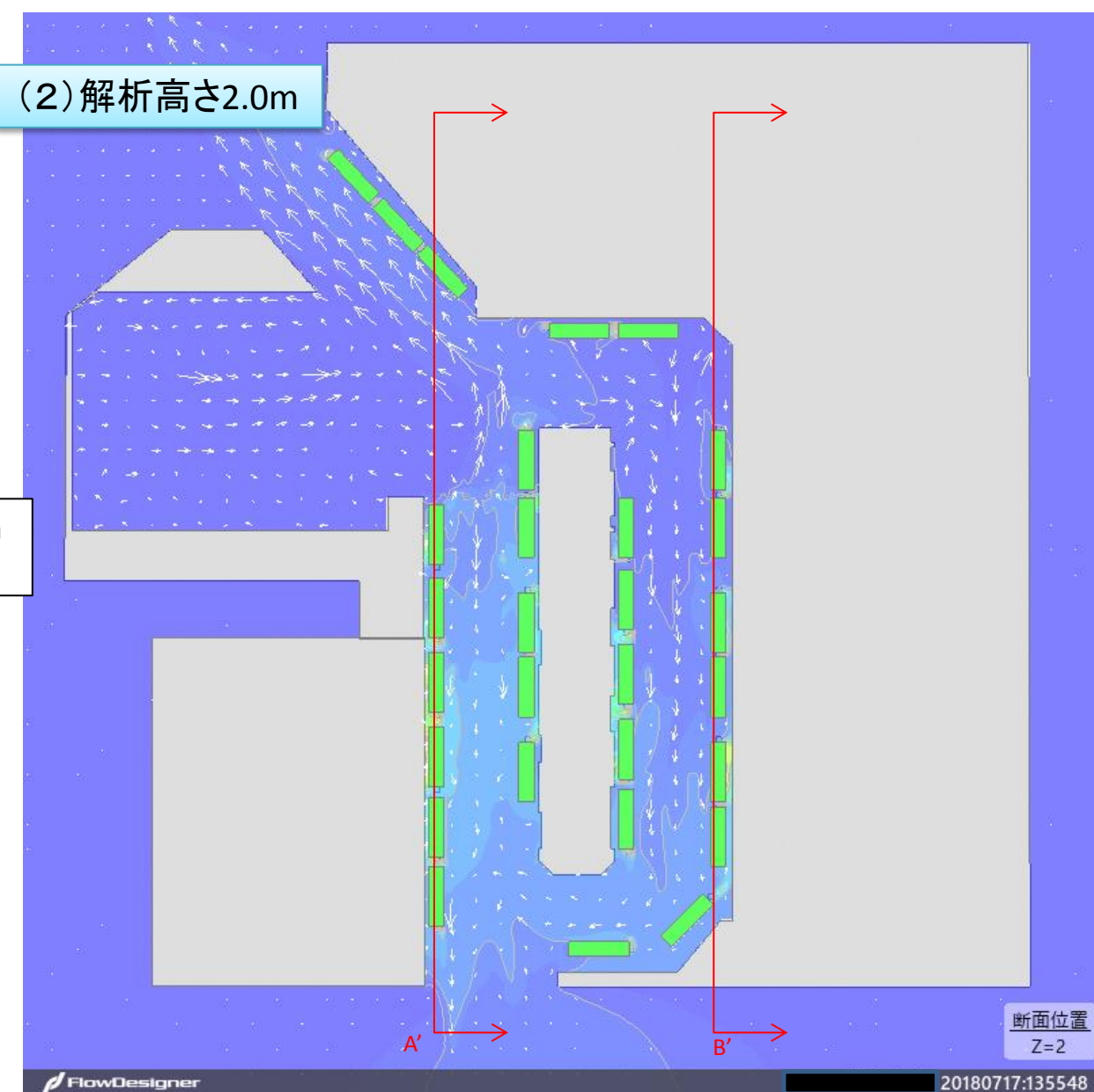
- ピーク時のバス通行量を前提に、バスターミナル内の換気状況を再現し、CO濃度シミュレーションを実施。
- 解析の結果、最大でもCO濃度は20ppm未満であり、自動車ターミナル法による車路部分の基準値である100ppmを大きく下回っている。

## 1 平面図(CO濃度分布)

(1) 解析高さ1.5m



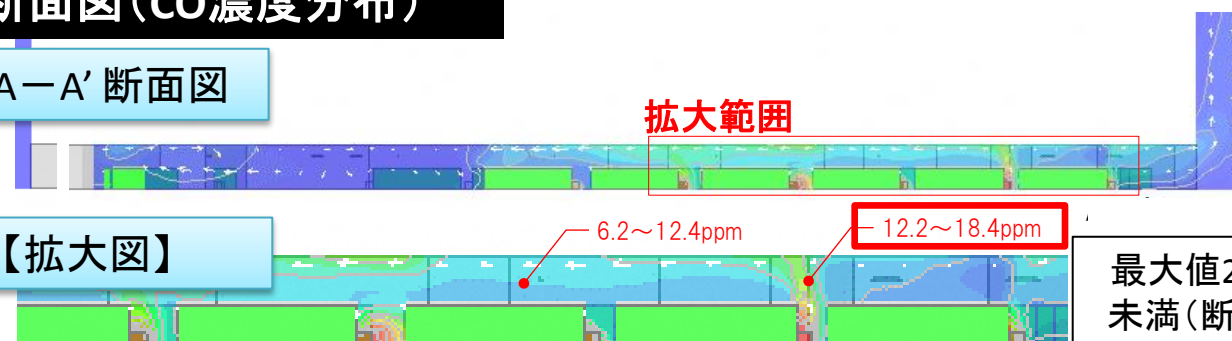
(2) 解析高さ2.0m



最大値20ppm  
未満(平面部)

## 2 断面図(CO濃度分布)

(1) A-A' 断面図



(2) B-B' 断面図

